

10902ガラス・同製品製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労働 者規 模
1	2017	11	16～ 17	ガラスクロスにヒートチューブを縫い付ける作業をしていた。糸くずが手について払っても取れなかったため2メートル程離れた場所にあるエアガンで払って作業場に戻ろうとした時、床に這っていたコードに足を取られ転倒した。その際、左手を床について庇ったところ負傷した。	59	2	417	50～ 99
2	2017	10	17～ 18	工場内の階段で二階から一階へ階段を下りている時、階段下の脇にガラスが立てかけてあった。置いてある事を知らずに、階段を下りていてガラスにあたり、ガラスが倒れた。倒れたガラスを踏んだ時に、足をひねった。	58	19	529	1～9
3	2017	10	16～ 17	業務を終え、退社しようと工場内を移動していた際、土間に置いてあったパレットに躓き転倒し、右肘を強打し受傷した。	56	2	417	50～ 99
4	2017	9	10～ 11	碎石場にて、火薬を用いた性能試験を行っている時、電気信号を受け取ると発火する火薬デバイスに電気信号を送るためのコネクタを取り付けた時に、電気信号を送るためのコネクタよりも配線で上流側には、安全を考慮して無暗に電流を流さないための中間スイッチが付いていた、この中間スイッチは、無線信号を受信して初めて電流をコネクタ側に流す回路となっていた、コネクタを取り付ける直前に、電流が流れていないことを当事者が確認した上でコネクタを取り付けたが、無線送信機から意図しない無線信号が出たことでコネクタ側に電流が流れてしまった、そして電流の流れているコネクタを取り付けたことにより、火薬が発火した。	27	90	379	500 ～ 999

5	2017	9	14～ 15	工場2階食堂ドアのガラスの割れ替えの為、割れたガラスを外している時、外している所と違うガラスが落下して左右の腕に当たり怪我をした。	56	4	419	1～9
6	2017	9	3～4	D2ラインにて切断し、警報が鳴らなかった為スリープチップに生地（ガラス）がたまり、それを除去する為にカキ棒にて引き出す作業で、カキ棒がガラスから外れた為後部に倒れた時に、隣のAT#1号マシンの変速機ハンドルに右脇腹を打ち負傷した。	52	3	379	100 ～ 299
7	2017	8	15～ 16	工場において、鏡の切断作業中、鏡（500mm×500mm×5mm）を左手で抱えて持ち上げているとき、滑って落ちそうになったので支えようと右手を鏡の下に伸ばしたところ、右手首に当たって切創した。	50	8	529	10～ 29
8	2017	8	9～ 10	工場内において、縦型仮置ラックに完成品を置く作業中、右膝でガラスが倒れるのを防ぎつつ、保護用の紙を挟んでいたところ、ガラスが倒れそうになった。足で支えようとしたが、右足が滑ってラックの隙間入り、右足を捻ってしまった。その際に右アキレス腱が伸びてしまい、約2週間の治療が必要となった。	22	19	921	50～ 99
9	2017	8	18～ 19	自動車ガラスの部品組付ラインにて、パレット内の完成品ガラスの検収をしているときに、次のパレットのガラスを検収するため、シューターレバーを解除し、パレットを流そうとしたが、パレットが斜めになっており動かなかった。監督者を呼ばずに被災者自身でなんとかしようと考え、シューター内に入り、パレットを引っ張ったところ、急にパレットが流れてきた。手で押さえようとしたとき、咄嗟に左足が出てしまい、パレットとシューターに左足が挟まれた。その後、左足踵辺りが腫れ上がってきたので病院を受診した結果、左足関節外果骨折と診断された。	24	7	391	300 ～ 499

10	2017	8	13~ 14	工場内において、日々行われるプラスチック射出成形業務に関する、全型交換作業時のボルト締め・緩めの繰返し作業により、左肩の腱板断裂が生じた。	68	19	921	10~ 29
11	2017	7	7~8	駐輪場で自転車を止めようと左足を地面に降ろし右足も自転車から降ろそうとした時に右足が自転車に引っ掛かり身体のバランスを崩して左側へ倒れた。その際に左膝周辺を強打した。	41	2	362	100 ~ 299
12	2017	6	13~ 14	棚卸作業中、パレットの上の商品を確認する際に足を滑らせ転倒し、右膝を負傷して救急搬送された。	21	2	379	50~ 99
13	2017	6	11~ 12	B倉庫貨物用エレベーター内の荷物を取り出す為、倉庫内に停めてあったフォークリフトに乗り、エレベーター外側大扉に向かい、大きく旋回した時に、非常に大きな破裂音と共に左耳が急に聞こえにくくなった。近くにいたリーダーも耳に異常を感じており、すぐに本人から左耳が聞こえにくい事の報告を受けた。また、2階で作業をしていた責任者もすぐに駆け付けて状況を確認したところ、後輪タイヤが破裂していた。	45	15	222	50~ 99
14	2017	6	17~ 18	工場排水処理設備汚泥貯留槽東側付近の植栽の枝切り作業中に、強風を受け体勢を崩し、梯子からコンクリート地下水槽角に胸部等を打ちつけ負傷した。(2m位の高さ)	50	1	371	50~ 99
15	2017	5	10~ 11	搬出作業においてケーキを台車に積み込む際に、台車のハンガーが変形しており、下のハンガーがケーキに当たって入らない為、ハンガーを持ち上げるようにして変形を修正しようとしたところ背中に激痛が走った。	29	19	921	100 ~ 299
16	2017	5	10~ 11	4号炉成形地下で、カレットコンベヤーテーブルプーリーの点検が終了し、ダクトの上を移動しようとした時に、聴診器を首にかけ、両手には何も持っていない状態で、体の向きを変えようとしている時に左手を無意識にベルト上(リターン側)に置いてしまい、左手がテーブルプーリーに巻き込まれた。	45	7	121	1~9

17	2017	5	16~ 17	<p>事故は事務棟1階設備グループ作業場にて、検査場で使用中のアルミ製パイプ裏面の傷及びバリの程度が進んだことから、裏面を研磨することで再度使用可能な状態に戻す為の作業中に起こった。被災者は旋盤を使用し、その回転軸部にパイプを装着固定し、スイッチを入れ回転させ、一方で棒ヤスリにサンドペーパーを重ねてその両端を両手でそれぞれ持って、回転するパイプの処置部にサンドペーパー面を押し付けながら研磨していた。その最中に両腕の力バランスが崩れ、右手の軍手が回転中のパイプに引っ掛かり、そのまま右手がパイプや基部のチャックに巻き込まれ、フットブレーキを踏み機械を止めたが間に合わず、右手を負傷した。</p>	54	7	151	100 ~ 299
18	2017	5	16~ 17	<p>製品グループ内通路を歩いていたところ、出荷品置場からリーチフォークが後進しながら通路に出て来て、急発進の上、後ろをよく確認しないで出てきたため、右肩に接触し同時に右足首が車体と床の間に挟まれ捻挫した。また、体勢を崩した際、左手をパレットにぶつけ小指が突き指となった。</p>	26	7	222	50~ 99
19	2017	4	16~ 17	<p>工場内で、裁断された硝子を両手に持ち、所定の場所に置く為に移動していた際に躓いてしまい、右足首を捻挫した。</p>	29	19	529	10~ 29
20	2017	4	14~ 15	<p>中間膜保管庫内でパレットを引いて移動しようとした際に、パレットの端に中間膜が片寄っていた為バランスが悪く、作業者に向かって中間膜が倒れ、右足首にあたり打撲した。</p>	34	4	362	50~ 99
21	2017	3	8~9	<p>本社工場内にて、電動巻き取り機（1馬力）を使用してガラス糸（1300TEX）を木製ボビン（10cm×4cm~1.5cm）への巻き取り作業中、ボビン右側を乗り越えた糸が金属製回転軸（25cm×10mm~18mm）に巻きつき、右手人差し指先が糸と回転軸との間に巻き込まれ、示指の指先を挫傷した。</p>	22	7	169	1~9
				<p>当事業所工場内において、ガラスが束になっているパレット（重さ約200kg）をジャッキ台にのせて移動させる作業をそば</p>				

22	2017	3	9~10	で手伝っていたとき、荷物のバランスが崩れてパレットごと倒れ、下敷きとなった。	21	5	611	1~9
23	2017	3	17~18	請負先である構内作業所でパレット（木製）に荷卸し後、パレットに足がはさまり転倒し、右膝を強打して負傷した。当初は我慢していたが、そのあと腫れ上がり、膝裏側の靭帯部分の骨を損傷していることが分かった。	38	2	379	10~29
24	2017	3	9~10	会議室の清掃を行っていたところ、ロフトの階段を4~5段上り、壁際のサンを拭こうとして手を伸ばしたところでめまいがし、誤って階段から転落して救急搬送された。	74	1	413	30~49
25	2017	3	8~9	被災者が現場で作業準備をしていたところ、ガスストーブの隣にあったゴミ箱が、熱で燃えているの発見し、まだ火が小さかったため、ゴミ箱の中のゴミを袋ごと取り出し、近くの水道まで持っていき消火した。その際、溶けたビニールが軍手に張り付き、右手5本の指先から第1関節まで火傷した。	50	16	529	100~299
26	2017	2	12~13	自動車ガラスの部品組付ラインにて自動機設備からガラスを出してシューターの上の完成品パレットに詰める作業の準備をしていた際に、シューターのストッパーが下がっていた為、シューターの上のガラスが20枚入った状態のパレットが動き、シューターから落ち、作業者の背中から腰のあたりに当たった。	37	4	224	300~499
27	2017	1	9~10	カード機（不織布製造機）の原材料を機械本体へ搬送するダクト管（直径20cm、立ち上がり330cm、そこからL字エルボー管で90度曲がった状態）のL字エルボー部に材料が詰まった為、1人で197cm高さの脚立をセットし、その最上部に乗って作業をしていた時にバランスを崩し、不安定な状態になったのでダクトに抱きついて逃げようとしたが、足を滑らせ脚立が倒れ、背中から地面に落ちた。	57	1	371	10~29

28	2017	1	4~5	検査2号ライン製品の工程検査実施後、レアーエンド作業場からレアー上作業台へ移動する際に、レアーエンドのステップ台から足を踏み外し、ステップと手すりの隙間に足が挟まり転倒した。その際、前方に設備されていた検査機の土台に左前頭部を打ち、挫傷した。	33	2	418	100 ~ 299
29	2016	12	13~ 14	旋盤加工場所にて、旋盤チャックにステンレスパイプをチャックさせ、チャックを回転させながらサンドペーパーを使用して右手で磨く作業を実施している際、作業服の袖が回転しているチャックに引っかかり、右腕が巻き込まれた。	74	7	151	30~ 49
30	2016	12	6~7	工場内で原料が詰まってしまい、除去しようとしているコンベアを棒で突ついていたら、棒が挟まった。手を抜こうとした際に、右手中指を大きく切ってしまった。	48	7	224	100 ~ 299
31	2016	11	2~3	原料投入プロセスでフレコンバックの原料出口の紐を緩める作業を行っていた。紐を勢いよく引っ張ろうとしたが、紐が手から離れてしまい、装置に取り付けてあるスチール製のガードにぶつけ、左手小指を負傷した。	32	3	419	300 ~ 499
32	2016	11	9~ 10	木製のパレットを修理する現場で、板の取り付け作業をしている際、左手でインパクトドライバーを持ちスクリュー釘を打ち込んだ時に釘が筋に当たり、反動で右手の示指に刺さった。	61	8	169	50~ 99
33	2016	10	13~ 14	工場内で、パレットの中から板ガラスを抜き取る際、持ったガラスが割れ鋭角に割れたガラスで、顔面左頬下部を刺傷した。	50	8	529	50~ 99
34	2016	10	15~ 16	工場3階の食堂内において、ローラーコンベアを2人で運んでいた際、一人が食堂の奥にローラーコンベアを置く場所を確認していた。その時に被災者は、一人で持てると判断し運ぼうと持ち上げた際、バランスを崩し左足に落下させ負傷した。	44	4	224	100 ~ 299
35	2016	9	11~ 12	工場内で貨物車より荷降し作業中に、荷台から飛び降りようとした際、足が滑り落ちた。その時に顔面をフロアに強打し、受傷した。	61	1	221	50~ 99

36	2016	8	9～ 10	カレット補給中にホッパー上部へ原料の入り具合を確認しに いて、階段を下り、副原料投入口前を通過した時に、張り出 ている鉄骨に左膝の皿付近を強打した。	42	3	418	100 ～ 299
37	2016	7	13～ 14	粉塵凝縮機清掃後、電源を入れて、動作確認を開始した。スク リューの点検口を開けたところ、スクリューの羽から、粉塵が 浮き上がってきた為、手ぼうきで、ふるおうとした時に手ぼう きがスクリューの羽とケーシングの間に巻き込まれた。手ぼう きを取ろうとした時に、左手親指が巻き込まれて、負傷した。	61	7	224	50～ 99
38	2016	7	17～ 18	敷地内駐輪場にて、帰宅する為、自転車に跨ってこごうとした 時、突然左に倒れ左大腿部を骨折した。	74	2	362	10～ 29
39	2016	6	8～9	工場において、鏡を乗せた台車をトラックに積み込むため、工 場内から表に引っ張っていた時、床の凸凹でつまずいた際、台 車のバランスが崩れて倒れかかってきて、前屈状態の腰に台車 の取っ手が当たり、腰を骨折した。	50	5	362	10～ 29
40	2016	6	8～9	朝礼後、事務所内の清掃中に机脇のゴミ箱のゴミを回収用のゴ ミ袋に入れようと屈んだ際、腰部に強い痛みを感じた。	43	19	611	300 ～ 499
41	2016	5	10～ 11	工場内でパレットから硝子を出しパレットのフタを閉めようと した時、クサビとロープを固定しないままパレットに足をかけ た際に、体重が自分の方にかかり空パレットごと後ろに転倒 し、ターンテーブルと空パレットに頭部を挟んだ。	49	5	529	50～ 99
42	2016	5	14～ 15	不織布製造機の原材料投入口である「ホッパー」から「荒打ち シリンダー」への原材料の供給の際、被災者が作業時間を短縮 させようと、原材料を手で「上下フィードロール」に送り込 み、指を挟んだ。	22	7	163	10～ 29
43	2016	3	11～ 12	壊れたシャッターの修理を行っていた際に、金属部分が急には ね上り顔面（眼鼻）に直撃し負傷した。	41	4	419	10～ 29

52	2015	11	17～ 18	調湿塔の下部にダストが溜まっており、ダストを取り出す為に下部点検口よりカギ棒を使用してダストを落としていた。ダストの上部に行くにつれて乾燥したダストになっており、カギ棒で衝撃を与えた時に、一気に高温ダストも落下したため、手前側で作業していた被災者に高温ダストが流れ込んだ。又、避難する際にも高温ダスト内を歩いた為、足を火傷した。	50	4	341	500 ～ 999
53	2015	10	7～8	軽トラックに同乗して、現場に向かって走行中、前車の前を走行していたバイクが、急に右折したため、前車が急ブレーキをかけ、当車も同様にしたが、後の相手車が間に合わず追突された。	34	17	231	50～ 99
54	2015	10	23～ 24	生産終了後のメンテナンス作業時に、成形機のチャックを運転したまま注油を行い、漏れた油を軍手の指にウエスを巻いて拭き取っていたところ、ウエスの端がチャックに引掛かり、軍手ごとチャックに左手人差し指が巻き込まれた。	23	7	169	50～ 99
55	2015	10	11～ 12	鉄製のパレットの移動馬を片付けようとして、安全ロープを掛けて移動馬を北側に向けて引いた際に移動馬がスムーズに動かず、バランスを崩して台車が倒れたため右足がその下敷きになり、パレットと共に倒れ尻もちをついて負傷した。	42	2	362	50～ 99
56	2015	9	20～ 21	ガラス素地流し桶に糸状カレットが溜まり正常に素地が流れないため、棒状の治具で糸状になったガラスを押しつぶし下流へ流す処置を実施。ある程度下流側のカレット処理が終わったので、上流側の糸状カレットを処理するため、足場（高さ1.3m）に足場から降りた際に手に持っていた棒状治具が桶の一部に引っ掛かり、バランスを崩し足場下に置いてあった踏み台に着地出来ずに転落し、左手首を骨折した。	45	1	411	1000 ～ 9999
			16～	バルクオペレーター（ガラスびんの自動送り積み付け）作業中、転倒びんが2本挟まるトラブルが発生、びんを取り除く為、プッシャー操作盤の自動スイッチを手動に切り替えたが、				300

57	2015	8	17	プッシャーが上昇しなかった為、安全カバーを開け、手でびんを取り除いた所、プッシャーが急降下し両手をはさまれ受傷した。	44	7	169	～ 499
58	2015	8	8～9	マルチ切断機の中のスラッジ（ガラスの切断かす）取りの作業を行なった。光学ガラスのマルチ切断機の中に、グレーのコンテナを入れ、スラッジをヘラで取ってコンテナの中に入れ、ある程度たまったので、マルチ切断機の中から出そうとしたところ、勢いあまってひじがマルチ切断機の扉にあたり、下半身だけをひねり、腰の筋を負傷した。	21	19	391	30～ 49
59	2015	8	15～ 16	スペンサー切断機にて、ウールベアの中枠作業のため2次スペンサーを切断していた時、使用できない部材の端部分（20mmくらい）を切るため、安全カバーを開けたまま材料を切断した。作業が終わり安全カバーを右手で閉めようとしたところ、手がすべりチップソーに接触し裂傷した。	62	8	169	30～ 49
60	2015	7	14～ 15	昇降式リフトにて金型倉庫上段から2段目にある棚の部品を取ろうとしたところ、昇降式リフト高さ約3メートルから足をすべらせて落下した。	47	1	222	50～ 99
61	2015	7	13～ 14	工場へ向う途中、対向車がセンターラインをはみ出してきて、走行中のマイクロバスの前方に激突してきた。	52	17	221	100 ～ 299
62	2015	7	9～ 10	製品加工用に薬液を調合するために、1階から2階の調合室に薬液用の空桶を6つ運んでいた。エレベータで2Fに上げ、すぐ横の搬出口から通路に6つ置いて、まずは4つを台車で調合室に移動させた。残りの2つは通路に置きっぱなしにしていたので急いでどけようと思い、2段重ねにして手で運ぼうとしたが、桶を持ち上げて2歩歩いたところで、上の桶が崩れ落ちてきて左足の親指の付け根あたりに直撃してしまった。	56	4	379	50～ 99

63	2015	6	9～ 10	カレットを処理する為、タガーにて馬台車を牽引してカレット処理場へ運搬した。タガーと馬台車の連結を外し左右に積載された、左側のガラスを投棄した。右側のガラスを処理する為連結環を動かした時、ガラスが台車上、片よっていた為ガラスと台車が転倒したはずみで左の腰骨と背骨を骨折した。	46	7	362	300 ～ 499
64	2015	6	14～ 15	工場内で製紐機への糸かえ作業を2人で1週間交代で行っている時に、業務の繁忙に伴い、腕を動かす回数が増えたため、上腕骨外側上顆炎を発症した。	41	19	921	10～ 29
65	2015	6	10～ 11	保管場所が4段ラックの上段であったため、脚立の天板に乗り、作業を行おうとしたところ、左手で引き出そうとつかんだ箱の蓋（ダンボール）が破けて、その勢いで後ろに落下した。	55	1	371	30～ 49
66	2015	5	13～ 14	倉庫内で、パレットメンテナンス作業をしていた時に、フレーム台車に後ろ向きに躓き転倒し、支柱に足が引っかかり右下腿部を受傷した。	61	2	362	100 ～ 299
67	2015	4	16～ 17	1階作業場で型をあげている時に、踏み台から落ちてこけた。	65	1	371	10～ 29
68	2015	4	8～9	作業場に向かう途中で転倒した際にとっさに左手をついた為、左手に体重がかかり骨折した。	63	2	417	300 ～ 499
69	2015	4	14～ 15	成型作業所において、徐冷炉に製品を入れる作業中、奥に手を入れすぎた為、右手甲を火傷してしまった。	57	11	341	50～ 99
70	2015	4	15～ 16	洗浄室にてフッ酸による製品の洗浄作業をしていた時、作業を誤ってフッ酸が手に付着した。	60	12	514	50～ 99
71	2015	3	15～ 16	セクション毎に風向を確認し隣のセクションに移動していたが、第4セクションでの確認の際、通常であればカウンタブロー後に金型が上がったタイミング（金型停止時間：約6秒）で指をかざすべきところ、セツルブロー後に金型が上がった	43	7	169	300 ～ 499

				時（金型停止時間：約1秒）に指をかざしてしまい、動き出した金型に挟まれて熱圧挫創を負った。				
72	2015	3	9～ 10	遮音壁用合わせガラスの中間膜の処理作業中に、カッターの刃が折れて、中間膜とガラスの間に挟まった状態になったところに勢いがついている持ち手（右手）が突入し、人差し指と親指の間に折れた刃が刺さる形で切創した。	19	8	379	100 ～ 299
73	2015	3	22～ 23	コンベア上にガラスコップを流してラベルを貼付け、梱包するラインのラベルマシンでエラーが発生した為、ラベルが貼られていないガラスコップをラインから取り除こうと、他作業中の被災者が走って向かった所、パレット搬出用の高さ10mm程度のチェーンコンベアの段差に右足が引っ掛り転倒しそうになった為、体勢を立て直そうと強く左足を付いた際に、安全靴内で、左足親指の爪が引っ掛り爪が剥がれた。	24	3	379	50～ 99
74	2015	2	12～ 13	マット生産工程のカッターで切断したストランドで散分しているフォーミング室の出口天井の毛羽（ガラス繊維）を取るためにホウキを使用して掃除した後、ホウキを手繰り寄せたとき、ホウキが背面の安全柵に当たり、それを修正するためにホウキを前に出したときにホウキがフォーミングネットとローラーに挟まれて、ホウキから手を離すタイミングが遅れて、右手がローラーとネットの間に挟まれた。	48	7	163	100 ～ 299
75	2015	2	0～1	工場内にて、硝子からはみ出たフィルムを彫刻刀で切り落としていた際、手がすべり、硝子を押さえていた手に彫刻刀が当たり裂傷した。	59	8	364	30～ 49
76	2015	2	21～ 22	ガラス熔融炉垂直煙道部からの素地出し作業中に、素地が下部の落とし口に溜まった。これを取り除く放水作業による清掃中、水蒸気の発生によりヘルメットシールドが曇り視界が悪くなったため、シールドを上げる動作を行った。この時、放水ノズルが振れて水が高温部のガラスに直接かかってしまったた	40	11	341	100 ～ 299

				め、急冷によりガラスが弾けて硝子片が顔面に飛び被災した。				
77	2015	1	13～ 14	工場内でマニュアルシールマシンを搬出するため、2.8mの高さにあるホース連結部の取り外しを行った。手が届かないため、脚立に乗り、接続部分をスパナで外していた。かなり硬かったため、力を入れて被災者側へ引いたところ、ナットが外れたと同時にスパナも外れ、その反動により後方へのけ反り、右肩から床へ落下した。	41	1	371	30～ 49
78	2015	1	11～ 12	荒打ちファン停止により原料が途切れた為、ニードルを止めてフリースマシンホッパーの様子を見たところ、リザーブボックス下のローラーの端に原料が溜まっていた。ローラーが回っている状態で原料を取ろうとして、ローラーに手を取られてしまい、リザーブボックスとローラーの間に左手を挟まれ負傷した。	57	7	169	30～ 49
79	2015	1	11～ 12	板硝子の積み込みを行ったが、補綴用のバーの内上段のバーが左右であわない為、前抑えバーの調整を行うこととなった。本来であれば一旦仮にピンを入れて調整するところ、被災者がピンを入れることを失念し、前抑えバーを調整しようとしたところ、被災者側のバーのみピンがささっていない為、外れ被災者は車上から転落した。	30	1	221	30～ 49
80	2015	1	0～1	仕上げ作業にてパレットへの製品の積み上げが完了したため、パレットに差枠をはめこもうと、隣に準備してあった空パレットから差枠をはずし、手で抱え運搬した。パレットの右正面付近まで移動してきた際、床面に飛散していたパウダーで右足を滑らせ、尻もちをついた。	57	2	417	100 ～ 299
81	2014	12	14～ 15	梱包場で、満数パレットを合紙供給機から二人がかりで搬出作業をしていたときに、補助者である被災者が足を滑らせ、パレットの床の間に足が挟まり、左足甲部を受傷したもの。	39	7	362	100 ～ 299
				ランプ用ガラス管加工機の搬送コンベア乗移り箇所において、				

82	2014	12	19～ 20	直径16m/m、長さ66m/mのガラス管の詰まりが発生した。被災者は、その詰まったガラス管を除去しようとした時に、コンベアと乗移りシュート部に右手薬指の第一関節部を挟まれた。	55	7	224	300 ～ 499
83	2014	12	11～ 12	びく型検査の作業中につまずき、びく型に設置された刃の上に倒れ込み、左手3,4,5趾伸筋腱を断裂及び左下腿を挫創した。	25	3	379	1～9
84	2014	10	12～ 13	避難訓練にて製造現場から指定避難場所（従業員駐車場）へ移動時に足がもつれて転倒した。転倒した際に、左手で受け身を取ろうとし左手の平、肘を地面に強打した。	51	2	417	30～ 49
85	2014	10	13～ 14	工場内の材料保管場所で口1000×20tのプラスチック板を丸ノコにて切断作業中に、切断途中の板材がノコ刃を挟み込む形でノコ刃の動きを邪魔した為、刃を回転させながら引き抜こうとしたところ丸ノコが跳ね上がり、右足ふくらはぎ下を切創した。	32	8	131	100 ～ 299
86	2014	9	14～ 15	ガラスの秤量作業中、他の作業員の手伝いをしようと足早に階段を降りた際、足元をよく見てなかった為、地面に左足を着地した時に、足の外側から捻った状態で着地してしまい、且つ体重が乗ってしまったこともあり負傷した。	47	2	413	300 ～ 499
87	2014	9	17～ 18	プレスにエアースを差し込んだ際、手首が支えきれず、負傷した。	22	19	169	50～ 99
88	2014	7	9～ 10	製造ラインを稼働中に、不良品がライン下に落下していた為、機械を稼働した状態で左手をライン下に入れてしまい、加工品を送り出すコンベアに軍手が絡まり、左手が挟まれた。	34	7	224	50～ 99
89	2014	7	12～ 13	工場内に於いて、ビニロン繊維のカット作業中、繊維をカットする機械に指を挟まれた。	36	7	169	30～ 49
				据え置き型の木材横切機を使用して木材の長さを1mに切断した。次に木材を縦方向に向け、幅の切断をしようとした切り台				

90	2014	6	9～ 10	の上に横ズレ防止ストッパーをセットし、木材を置いたが安定しなかったため、まず奥側を押さえ棒を使用して押さえ、次に手前側を素手で切り台の端辺りの位置を押さえて切断を始めたところ、切断時に飛散するオガ粉で手元が見えにくく、右手を離すタイミングが遅れて人指し指と中指を被災した。	57	8	131	100 ～ 299
91	2014	4	2～3	休憩後、休憩室から作業場に向かい歩行している途中、敷板につまずき転倒し被災した	34	2	417	500 ～ 999
92	2014	3	9～ 10	工場敷地内にて、建屋外に並べてあった原料の受け入れチェック作業中、後方からバック走行してきた同僚が運転するフォークリフトに追突され左足首を負傷した。	44	6	222	100 ～ 299
93	2014	2	18～ 19	フィーダー調整作業として、フィーダー架台の手すりに取り付けられたバルブを調整するため、架台のH鋼に右足をかけ、作業舞台の手すりを右手で持ち、左手でバルブを操作しようと手を伸ばしたところ、後方に転倒し約1mの高さから転落し、臀部を強打し腰椎を骨折した。	34	1	418	500 ～ 999
94	2014	2	6～7	タイムカード打刻のため工場内通路を歩いていたところ、前々日からの雪が残って凍結していたため、足を滑らせた。前のめりに正座をするように転倒し骨折した。	51	2	417	500 ～ 999
95	2014	1	13～ 14	製びん現場3号マシン付近で、コンベアー上の詰まったビンの除去作業中に、床に落ちたビンの清掃作業を行っていたところ、床に落ちていたガラス片を踏み左足底部を切った。	55	8	529	50～ 99
96	2014	1	5～6	作業現場で、ガラス製品が満敷になったパネルの検査業務に従事していたとき、パネル内の合紙に2枚の破れを発見したため、破れた合紙を交換しようとして上部に引き抜こうとしたところ、右肩に痛みが生じ受傷したもの。	30	19	529	100 ～ 299
97	2014	1	6～7	同居人が運転する車の助手席に乗り同じ勤務先に向かっていたところ、国道にて道路左側に停車中の除雪車後部に追突し負傷	45	17	231	50～

				した。前夜は降雪で道路は滑り易い状態であった。				99
98	2014	1	14～ 15	車両をリペア工程に移動させた後、急いでファイナルチェック工程に戻りピットの最初の車両に乗り込むため、ピットを跨ごうとしてピット足場で踏み外し、ピット内に足から落下し、床面のアングルに背中を打撲し損傷した。	53	1	418	100 ～ 299
99	2014	1	6～7	駐車を歩行中、凍結路面で滑り転倒した際右手を強打した。	40	2	719	100 ～ 299
100	2013	12	13～ 14	圧縮後のグラスウール（500x500x400、8kg程度）を運んだ際、足を滑らせ、足骨を骨折した。	59	2	921	10～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。